

農業委員・農地利用最適化推進委員が決定 7月24日金

農業委員会委員の任期満了に伴い、新たに農業委員14人と、農地利用最適化推進委員14人を決定しました。7月24日の総会では、会長に今岡和登さん、会長職務代理に中祖勉さんを選出しました。

農地の売買や賃借、家の裏の農地に墓地を移設したいなど、農業や農地に関する要望や困りごとがありましたら、各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員にご相談ください。

※両委員の任期は、令和11年7月19日までの3年間です。

問 農業委員会事務局
 ☎ 76・2214

農業委員 ※敬称略

()は担当地区

						
戸田佳代 (奥畑)	石橋洋司 (長谷・寺沢)	別木哲夫 (都加賀・花栗)	井上 優 (八神・獅子)	伊藤厚志 (志津見・角井)	会長職務代理 中祖 勉 (谷)	会長 今岡和登 (下来島)
						
門眞一郎 (上赤名)	宇都宮友美 (下赤名)	藤谷貴美 (小田・真木)	安部孝志 (上来島)	澤島ひかる (野萱)	景山 昇 (敷波・佐見)	加瀬部一倫 (上区)

農地利用最適化委員会 ※敬称略

()は担当地区

						
三嶋康広 (敷波・佐見)	宇山智明 (上区)	岸 誠也 (奥畑)	藤原 治 (長谷・寺沢)	日野 均 (都加賀・花栗)	那須永英 (八神・獅子)	空岡善隆 (志津見・角井)
						
砂田和昭 (谷)	田部 弘 (上赤名)	木村 毅 (下赤名)	中岡 啓 (小田・真木)	景山泰治 (上来島)	佐々木英夫 (野萱)	三島信秋 (下来島)

姉妹都市提携に関する協定締結 7月17日金



大村市 園田裕史市長(左)と塚原町長

長崎県大村市と、「姉妹都市提携に関する協定」を締結しました。

大村市とは、共通の姉妹都市である兵庫県伊丹市との交流をきっかけに、物産展や小学生対象の交流事業など、さまざまな交流を続けてきました。平成27年には「友好交流都市協定」を結びましたが、今後、より活発な交流を進めるため、このたび「姉妹都市協定」を締結しました。

締結式には大村市からの市民ツアー参加者のほか、町姉妹都市協会会員も出席し、両市町の関係者と共に、新たな友好の節目を見届けました。

飯南高生が全国の舞台へ



堂々とした舞を披露する神楽愛好会

魅力化事業を推進する飯南高校が、全国大会へ出場しました。高校生が広く活躍できるよう、今後も支援を行います。

●報道部
 NHK杯全国高校放送コンテスト(7月21日・24日・東京都)「アナウンス部門」
 熊本葵さん 準々決勝出場
 【テレビドキュメント部門】
 森山智貴さん、澤田煌明さん、三上護さん 準々決勝出場

●生命地域ラボ神楽愛好会
 高校生の神楽甲子園(7月25日・26日・広島県)出場
 出演 瀧夜叉姫

●JRC部
 高校生ボランティア・アワード(8月4日・5日・東京都)日本赤十字社JRC賞受賞

わがまち魅力発信隊として飯南町をPR 8月1日土



多くの来場者に飯南米の魅力を伝えました

マツダスタジアム(広島市)で開催された公式戦に合わせ、イベントブースを出展しました。

飯南米の販売促進や、大しめ縄、森林セラピーなどといった観光資源をアピールするのが目的。当日は、大型ビジョンで飯南米をPRする映像の放映、特設ブースでのイベント開催など、本町の魅力発信活動を行いました。

今後も引き続き、本町の魅力や情報を発信してファンづくりに取り組むとともに、特産品や観光資源のPRを継続していきます。

退職者紹介 地域おこし協力隊を紹介

7月31日付で、次の職員が退職しました。
 飯南病院 医師 榎野貴文

【地域協力活動×ITリスキリング協力隊】
 IT技術を活用した取組を行う町内の団体・事業所等と連携し、地域課題解決を目指します。



8月に着任した地域おこし協力隊を紹介します。

【業務】地域協力活動×ITリスキリング
 ●高橋 希代香さん(出雲市から)
 飯南町で山登りやリングゴ狩りがしてみたいです。皆さんのお役に立てるよう活動したいと思っています。